

# ねいの里 ホオホオニュース



## 2008年のアサギマダラ・マーキング

富山アサギマダラ調査グループ

今年で7年目を迎えた当グループの活動は、毎年再捕獲が県外であるなど、大きな成果をあげています。過去3年は次のとおりです。

回数	年	調査参加者 (登録者数)	マーキング数 (捕獲数)	県外で再捕獲 されたもの	再捕獲したもの (県外で放蝶)
第5回	2006年	38名	734	4	2頭
第6回	2007年	38名	423	5	2頭
第7回	2008年	35名	530	4	1頭

### 1、今年の捕獲時期

今年の最も速い捕獲 6月7日 富山市八尾白木峰(標高1000m) ♂ 東條好夫さん  
 今年の最終捕獲 10月3日 朝日町小川ダム ♀ 東條好夫さん  
 今年は各地で局地的豪雨にみまわれ、また台風が少なかったせいか、「今年は少ない」「いつもいる所で見れない」という声をよく聞きました。

### 2、捕獲場所

有峰及びその周辺で最も多くマーキングしました。その他の地域では、医王山・イオックスアローザスキー場・縄が池林道・白木峰・僧ヶ岳・朝日町小川ダムなどで捕獲放蝶しました。

### 3、有峰での放蝶イベント

2008年9月7日(日)、「有峰の自然を探る」において、ベテランやジュニアナチュラリスト32名の参加を得て、有峰一帯で行いました。その結果、雨まじりの天候の中、127個体にマーキングできました。

### 4、今年の再捕獲データ

- (1) 県外で再捕獲されたもの
- |                          |              |
|--------------------------|--------------|
| 7/19 医王山中腹 → 8/8 岐阜県白川村  | 20日間で 玉川治之さん |
| 8/16 白木峰林道 → 9/18 石川県宝達山 | 33日間で 清水儀正さん |
| 9/1 有峰東谷 → 10/4 和歌山県日高町  | 33日間で 新庄康平さん |
- (2) 県外で放蝶され当グループが再捕獲したもの
- 9/7 岐阜県高山市 → 9/18 黒部市僧ヶ岳 11日間で 東條好夫さん  
 (事務局：富山県自然博物館ねいの里 担当 木村)



ジュニアナチュラリストによる有峰での調査活動



## 活動をふりかえり

### ◆ きのご狩りとキノコ汁を愛でる。

10月19日(日)秋晴れのなか、恒例の「キノコ狩りとキノコ汁を愛でる」会が行われ、190名の一般参加がありました。参加者はキノコの展示コーナーでねいの里のキノコを勉強、スタート前には講師からキノコ狩りの注意事項や採取ポイントの説明を受けて、お待ちかねキノコ狩りがスタートしました。採取したキノコは専門家により食毒判定を行ってもらい、食用キノコの少なさにため息。キノコ狩り終了後はキノコたっぷりのおいしいみそ汁で秋の味覚を楽しみました。

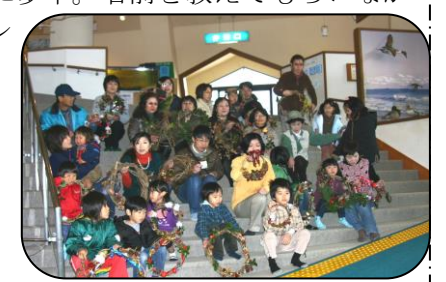


### ◆ クリスマスリース作り

今年はホワイトクリスマス?朝からあいにくの寒い雪となり、前週に会のみなさんと取った素材を使ってリース作りを楽しみました。和やかな雰囲気の中、子供から大人まで制作に夢中。名前を覚えてもらいながらいろいろな形や色の木の実を常緑の葉と一緒にリースに付けるとオリジナルのリースが出来上がりました。

皆さんのセンスの良さにも感心しました。きっとこのリースの架けられたお家には、サンタさんから素敵なプレゼントがあったことでしょうね。

最後に作ったリースを掲げて、全員で記念撮影。皆さんとても良い笑顔でした。参加者(子供11名)26名制作中塾のみなさん(頼もしい応援団6名)とも交流を深めながらの楽しいひと時でした。これからもこのような事業が続けられるといいですね。



## 里の山にのこりに 「私のジュニアナチュラリスト活動」

荒俣 剛毅 さん(砺波高校1年)

僕はジュニアナチュラリストになる前から生き物が好きでした。その中でもクワガタが好きで図鑑で調べたり、家で飼育したりしました。その頃はオオクワガタという一般的なクワガタを飼育していました。ジュニアナチュラリストとなって有峰に行ったとき、僕はヒメオオクワガタを見つけました。このクワガタは、オオクワガタと名前が似ていますが、生息地は標高1000mと高く、11月近くになっても元気に活動しています。

僕はオオクワガタと見た目がほとんど一緒のヒメオオクワガタの生態がこれほどまで違うのか、不思議でなりません。又クワガタ以外にもアサギマダラ、ジムグリ等多くの生き物に出会うことが出来とてもいい経験だったと思います。これからは活動の幅を広げて、多くのことを経験し学びたいと思います。

毎月第1土曜日が活動日です。

塾の会活動日のうち、ねいの里との共催行事には参加予約が必要です。

お気軽にねいの里へお越しください！ (都合のよい時間だけの部分参加も歓迎です。)

昼食は各自ご持参ください、炭焼き小屋の囲炉裏をかこんで食べましょう。

1月10日(土)	2月7日(土)
○ 午前10時～ ・ 囲鍋お雑煮会&冬の園内散策 囲炉裏で材料を持寄りのお雑煮をいただきます。	○ 2月7日 午前9時30分～ ・ スノーシュー・カンジキハイク 雪の園内を散策し、木々の冬のたたずまいや野生動物の足跡などを観察します。
参加者/定員なし	参加者/定員なし

## ～ねいの里行事予定 案内～

- 1月4日(日)～6日(火)  
9:00～17:00 春の七草を愛でる  
(七草の頒布) 定員 200セット



- 特別展示  
12月15日～ 3月18日 自然塾の会写真展

自然塾の会会員の写真展です。多数の皆さんの御来園をお待ちしています。



### ■ お願い ■

- 会員の駐車場利用について  
会員の方は、「ねいの里」行事への参加や施設の利用を前提に、休祭日の「いこいの村」駐車場利用料金が無料となっています。会員の方が駐車される場合は、ナチュラルリスト駐車場の利用をお願いします。

発行 生き物ふれあい自然塾 塾長 湯浅純孝

〒939-2632 富山県富山市婦中町吉住1-1 自然博物館ねいの里内

Tel 076-469-5252 / メールアドレス shizen@toyamap.or.jp

# ふくろう通信

第12号  
2009年1月1日  
生き物ふれあい自然塾



今日のふくろう先生は

高野 敏明 さん  
(昆虫研究家)



光学メディアを焼く際に、仕上げとしてパソコンが行う”検証”のごとく、自分の記憶がぐるり、さくっと検証されて再び現実に還る、と感ずることがある。人にとって懐かしい音楽は、しばしばそのスイッチとなる。パソコンに入れたBGM用CDを今また交換する。選んだのは、Petula Clarkの“Don't Give Up”。元は1968年に発売されたLPだ。シナトラが力強いテナーで復活し、チャップリンが作曲に力を傾け続けた時代。どんだけ昔かって？ ところが、ていねいな復元作業が施された音質のおかげで、彼女のボーカルは生々しく、実に若々しい。聴いている間に、ボクのおツムのバックグラウンドで、間延びした人生の記憶が検証され、一部分でも正しく蘇る、と信じたい。さて、虫との日常。例えば、ヒメカンアオイの若葉からギフチョウ卵を探し当てたとき、飼育のメスアカミドリシジミの糞からサクラの匂いを凝縮した芳香を感じたとき、それとも、ネットした新鮮で完全なミヤマカラスアゲハの胸を圧すとき、時間が止まったかのように、自分自身を客観的に感ずることがある。

その出来事は懐かしければ懐かしいほど感慨深く、穏やかに心を揺さぶることもあるのだ。

30年ぶりに、蝶に再会したく台湾を訪ねたときのこと。森の風景にかつての面影は見いだせなかった。しかし、彼らの子孫は場所によって健在で、カラスアゲハの仲間が陽を浴びて躍動して翔ぶのを見たり、雨の午後にアケボノアゲハが群れをなして悠然と吸蜜する光景を前にすると、ボクは時代の流れを忘れてしまっていた。歳をとっていろんなものが変わってしまった。まわりの何もかもが変わってしまった。でも、自分は変わらずここに居る、そう思わせてくれるのが、ボクにとっては懐かしい音楽と愛すべき虫たちなのだ。



アケボノアゲハ



ルリモンアゲハ



ホッポアゲハ